

【様式①】令和5年度 学校評価書(小・中・特別支援)

学校名 岐阜市立鶉小学校

校長名 武藤 広朗

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> <li>客観的データの分析結果に基づく実態把握と、保護者及び地域の願いを踏まえた教育課程を編成する。特に、生命の尊厳の理解を深める教育に重点を置く。</li> <li>資質・能力の育成を目指した教科横断的な学習や「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりに努める。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>客観的データの結果をもとに、各学級で実施することを考えたり、各組織の提案を見直したりした。特に、校内研究会では、子どもを主語にする授業づくりを目指し、研究授業を通して皆で学び合い、83%の児童が分かる・できると授業を評価をした。ICTを活用した学びができるについても93%ができると回答した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを活用した授業が多く展開されている。子どもの学びを支える新しい教育活動が充実している。</li> <li>子どもたちが課題に向かって仲間と学び合うことができている。ぜひ、学校でできるようになった学びや生活の力を、家庭でも実践できるようにしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>客観的データの結果をもとに、今後も、教育課程を編成し、評価・改善を図っていく。特に、全校課題となることは、組織で対応をしていく。</li> <li>家庭学習など自ら学ぶことや読書に親しむこと、家族のために自分ができる仕事に進んで取り組めるよう、家庭と連携して進めていく。</li> </ul>
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>9年間の児童生徒の育ちを踏まえた幼小連携並びに小中一貫教育を推進する。</li> <li>CSを核とした学校・家庭・地域が協働した指導体制を確立する。</li> <li>地域の人、もの、ことにもふれる教育活動を編成・実施し、地域のよさを実感できる児童を育てる。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>境川中学校区で共通の指導方針を定め、PDCAサイクルで取り組み、9年間をつなぐ指導の在り方を子どもの姿などで評価し、次年度の方針を見いだすことができた。</li> <li>CSを生かした地域人材の活用を促進し、「人、もの、こと」にもふれる体験活動を充実させた。特に6年生では、地域と連携して職業体験を行い、豊かな生き方を学ぶことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職業体験を通して子どもたちが豊かに育てられている。子どもたちの職業体験の場として、勤務している大学でも行えるように準備をしている。</li> <li>学校と家庭と地域が共に連携して子どもを育てていく必要がある。時間があるときに、子どもたちの見守りをしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>境川中学校区で共通の指導方針を立てて、9年間を見通した指導を継続していく。</li> <li>コミュニティスクールを活かして、地域人材の協力を得ながら、子どもたちの知徳体を育む教育活動をさらに追究していく。</li> <li>ぎふMIRAI'sに関する教育課程の編成及び改善に努めていく。</li> </ul>
あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育DX等、ICTの効果的な活用による「働き方改革」を推進し、子どもと深く向き合う時間の確保と充実を図る。</li> <li>教職員のコミュニケーションを活性化し、互いを尊重し、学び合いを楽しむ、働きがいのある学校にする。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育DXの活用の仕方を全職員が共有し、ペーパーレス化や資料の共有化を進め、時短につないだ。また、学年部をはじめ、教職員同士が相談したり、気遣ったり、助け合ったりすることを基盤とし、子どもの成長や願いを語りながら、常に協力して教育活動を進めていくことができた。結果、4月～1月までの学校全体の時間外勤務時間の平均は35時間となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内の至る所に、「ありがとう」のメッセージであふれている。児童会の取り組み、教職員の温かい働きかけのおかげである。</li> <li>教職員が共に力を合わせて工夫し、子どもたちのために頑張っていることが分かる。こうした教師の学び合い文化が子どもたちの学び合い文化につながっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が人間性を高めていく研修や、共に理解し尊重し合い、互いに学び合い、協力し合う風土を大切にしている。</li> <li>仲良く助け合いながら学び合うことのよさを子どもたちに姿で伝えていくことを通して、課題を発見し、方途を考え、仲間と挑戦して、よりよく解決していく楽しさを実感できる学校を創りだす。</li> </ul>
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>多種多様な非常事態への危機管理意識の高揚及び事業継続計画を基にした機能的対応に努める。</li> <li>「命を守る訓練」やいじめ対応等、様々な危機管理対応マニュアルを随時見直ししていく。</li> <li>地域と連携した防災教育の推進と交通事故防止等の未然防止に努める。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>多種多様な非常変災時の訓練を実施し、88%の児童が命を守るために、よりよく判断して行動していると回答した。</li> <li>いじめの防止や問題行動に対応するための教職員の研修を定期的に行い、児童会を核とした「ほつとな鶉」にしていく活動を継続してきた。85%の児童が悲しい思いをさせない行為をしていないと回答しているが、さらに高めたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>命を大切にする教育活動や「いじめ」や「問題行動」に向けて尽力していることが分かった。今後も徹底した指導をお願いしたい。</li> <li>道徳教育や子どもの話を聞くことを通して、子どもの心を開放し、よりよい生き方を考えることができるようにして欲しい。</li> <li>地域も一緒になって見守り、よりよい育成に力を注いでいきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もがかけがえのない存在であることを全校で大切にする。特に、学校いじめ防止基本方針の共通理解といじめの防止、自己肯定感を高める授業や道徳教育の充実、命の尊厳と危機管理体制など自己指導能力の育成に努める。</li> <li>地域と連携協働を深めて、子どもを皆で守り、大切に育成していく。</li> </ul>
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報適切な管理に努める。</li> <li>施設・設備や教材教具、ICT機器の定期的な整備点検を実行する。</li> <li>財務や納入金の適切な管理と有効な運用に努める。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>備品の総点検やICTの棚卸を通じて、物の管理のデータ化を進めることができた。</li> <li>財務環境の整備を定期的に行い、必要な教材教具の購入を行い、教育環境をさらに整えることができた。</li> <li>ペーパーレス化をさらに進めることで、財務をより有効な運用に生かすことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業で活用する資料がデジタル化している。校内全体で、ペーパーレス化が進んでいることが分かった。</li> <li>教室内、廊下などどこを見ても整頓されていて素晴らしい。物を大切に扱うこと、有意義な財務管理に今後も努めてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物の管理の徹底を図り、有益な財務環境のもと、子どもたちの学びを促進する教育環境を充実させていく。</li> <li>子どもたちにも、物の整頓や大切に扱うなど、自己管理能力を身に付けることができるよう今後も指導をしていく。</li> </ul>

HPアドレス: <https://gifu-city.schoolcms.net/uzura-e/>